

NSF諮問機関、中規模施設への投資拡大をNSFに要請 (8月16日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) のマテリアル科学局 (Division of Materials Science) の諮問機関のマテリアルズ 2022 (Materials 2022) 小委員会は、8月16日に公開した勧告書の中で NSF に対し、より多くの研究者が利用可能な最新装置に対する投資を拡大するよう要請している。

マテリアルズ 2022 小委員会は、NSF マテリアル科学局が 2011 年 3 月に発表した報告書の中で、NSF が中規模施設への投資を怠っているのではないかとの懸念が指摘されたことを受けて召集された組織である。

同小委員会は勧告書の中で、中規模施設への投資拡大モデルとして、使用料を支払うことで研究者が NSF の助成を受けた大規模施設の装置を利用できるようにする案や、全ての学術分野の研究者に対して特殊なナノ科学ツールの利用を開放する国立ナノテク・インフラ・ネットワーク (National Nanotechnology Infrastructure Network) の例などを提示している。

NSF のマテリアル研究局 (Division of Materials Research) のイアン・ロバートソン局長 (Ian Robertson) は、これらの提案について 2014 年度大統領予算教書を作成する際の参考にしたいと語っている。

なお、マテリアルズ 2022 小委員会の勧告書は  
<[http://www.nsf.gov/attachments/124926/public/DMR\\_Materials\\_2022\\_Report.pdf](http://www.nsf.gov/attachments/124926/public/DMR_Materials_2022_Report.pdf)>からダウンロード可能。

Nature Publishing Group, Panel Urges NSF to Boost Instrument Investment  
<http://blogs.nature.com/news/2012/08/panel-urges-nsf-to-boost-instrument-investment.html>